

20世紀最後のCMSC全国大会。 213名の参加で盛り上がる!

8月21日(土)
エビスサーキット



気持ちの良い夏空のもと、'99CMSC全国大会が福島県二本松市の東北サファリパーク・エビスサーキットで開催されました。今年はCMSC座間と南茨城の新しい支部の仲間も加わり前回は30人も上回る213名の参加人数となりました。

朝7:30ごろから続々とエントラントの方々が会場に入りはじめました。受付、車検も順調に終了し、みなさん慣熟歩行を開始。目覚ましとウォームアップのためにゆっくりだったのか、それとも支部対抗のために念入りだったのか、それはわかりません。慣熟歩行が終了すると、いよいよ開会式。コントロールタワーの下に、エントラントとオフィシャルの全員が集合します。外川会長に開会の辞をいただき、ラリーアート三田村社長からの挨拶、スタッフ紹介と続き、CMSC福島・菅野会長によるドライバーズブリーフィングと進行してゆきます。そして、全員集合の「ハイ、チーズ!」と各支部の写真撮影。記念はしっかり残さなければなりません。CMSC大阪の支部撮影の時は、逆立ちポーズで写真におさまるメンバーもいて周囲を笑わせてくれました。

さあ、これから支部対抗のジムカーナがはじまります。AII、AIII、AIV、レディース、オープン順にスタート。実況は、これはCMSC鳥根の古藤さんしかいませんよね! 照りつける太陽のもと、各支部勢い良くスタートを切っていきます。真剣さは、車から発する音と臭いと煙りに表れていました。第1ヒートが終了し、いよいよ第2ヒート。第1ヒートのリザルトもみんなチェックしていますから、余計に熱が入った走りを見せてくれました。そのせいか、コースアウトしてしまう車もでてきて、一時コース整備のために中断。CMSC福島のオフィシャルの方々がコース上の砂利を取り除いてくれて、

再スタート。午後3時過ぎに無事第2ヒートも終了しました。コントロールタワー下に表示された最終リザルトには、エントラントの方々が集まり歓声や笑い声、そしてわずかなため息ももっていました。

その後は、場所を移しての表彰式。支部対抗の優勝は帯広。2位は前回優勝の青森。クラス別の表彰も行われ、賞賛の声と野次も少し混じっていたかな?とにかく、和やかな雰囲気でした。また、そのあとの幹部会では、CMSCの現状と今後、各支部のコミュニケーション活動、ラリーアート・本部への要望などについて真剣な話し合いが行われました。同時に多くの支部の方が集まる機会というのはあまりないので、有意義な時間が持てたと思います。

そして最後は、みんなのメインイベント懇親会です。福島三菱自動車販売の小林常務にご挨拶をいただき、CMSC座間磯部会長から「カンパイヤ!」という声が聞こえるや、みんなの回転数はアツという間にレッドゾーンへ。恒例のビンゴ大会はもう歓声の渦の中で白熱。途中の小雨も誰も気にしている様子はありません。中締めはあったのですが、懇親会場は盛り上がる一方。CMSC群馬のスイカ割り大会が始まったり、花火が上がったりといつ終わるとも知れない真夏のイベントは深夜へと吸い込まれていきました。

今年の大会は20世紀最後。次の大会は2001年の予定です。CMSCも新しい世紀へみなさんと進んでいきたいと思います。21世紀にまた盛り上がりましょう。

'99CMSC全国大会参加者紹介



帯広



青森



秋田



岩手



仙台



福島



群馬



栃木



埼玉



千葉



南茨城



座間



愛知



岐阜



大阪



島根



香川



本部

'99CMSC全国大会ジムカーナ結果

支部対抗



左から1位~6位

1位	CMSC帯広	46ポイント	8位	CMSC本部	10ポイント
2位	CMSC青森	35ポイント	9位	CMSC千葉	10ポイント
3位	CMSC埼玉	27ポイント	10位	CMSC岩手	6ポイント
4位	CMSC群馬	27ポイント	11位	CMSC島根	6ポイント
5位	CMSC福島	23.5ポイント	12位	CMSC愛知	4ポイント
6位	CMSC仙台	22ポイント	13位	CMSC栃木	3ポイント
7位	CMSC大阪	11.5ポイント			

(支部ポイントは高得点3人の合計ポイント)

AIIIクラス(出走7台)

左から1位~3位



1位	佐藤 庄悦	仙台	58"690	1位佐藤選手の走り
2位	斎藤 光忍	大阪	61"870	
3位	味戸 厚二	本部	62"210	

AIIクラス(出走31台)

左から1位~6位



1位	田村 憲章	帯広	56"210	6位	長内 豊	帯広	57"990
2位	堅田 一也	青森	56"400	7位	高木 晃雄	島根	58"320
3位	佐々木幸人	仙台	57"190	8位	吉野 正則	愛知	58"370
4位	宮武 貴司	埼玉	57"680	9位	神田 昌昭	島根	58"520
5位	大泉 剛	福島	57"860	10位	飯田 和夫	愛知	58"600

1位田村選手の走り



レディースクラス(出走5台)

左から1位、2位



1位	大井 小ず糸	群馬	55"270	1位大井選手の走り
2位	佐藤 幸子	福島	56"030	
3位	工藤 康子	岩手	64"320	

AIVクラス(出走24台)

左から1位~6位



1位	三崎 朋弘	帯広	53"510	6位	前田 進一	青森	55"070
2位	岩本 茂	埼玉	54"110	7位	葛西 満	青森	55"130
3位	荒井 信介	群馬	54"600	8位	平塚 忠博	千葉	55"190
4位	金澤 龍	青森	54"800	9位	小山 俊哉	埼玉	55"970
5位	渡辺 弘	福島	54"910	10位	佐藤 宏昭	福島	56"010

1位三崎選手の走り



オープンクラス(出走3台)

1位



1位	小館 久	青森	50"850	1位小館選手の走り
2位	宇野 慶一	青森	51"980	
3位	須田 行雄	福島	54"890	



ご協賛いただいたスポンサー(50音順)

ご協賛ありがとうございました。

- IPF(株) ●(株)青木科学研究所 ●(株)アサツーディー・ケイ ●(株)朝日コーポレーション ●(株)アライヘルメット ●(株)伊勢丹 ●(株)エス・エス・リミテッド
- オートタイヤ(株) ●(株)オクヤマ ●(株)ガレージシロクマ ●(株)キャロッセ ●京商(株) ●(株)サミット ●(株)精電舎 ●(株)タスカエンジニアリング
- (株)テストアンドサービス ●(株)東京映像社 ●(株)日本ダンロップ ●日本特殊陶業(株) ●(株)長谷川製作所 ●(株)ブリヂストン ●(株)文祥堂
- (株)ミツワモデル柏崎 ●横浜ゴム(株) ●(株)ラリーアート ●(株)菱東エステック ●(株)リック



大いに盛り上がった'99全国大会。また次回お会いしましょう。



CMSC南茨城

8月21日 全国大会報告 みなさん、私たち記憶に残りました?



南茨城・中田事務局長(左)

CMSC南茨城にとって初の全国大会がやってきました。ジムカーナへのエントリーはこの日やっと2000kを越えたランサーエボリューションVI、ロールバー装着をしただけの「ど・の一まる」(平仮名で書くとクルマの状態が判りいただけると思います。)その様なクルマであって激戦区のA4クラスへエントリーするのも「記録を残すよりも記憶に残ること?」(おお何とスバラシイ言い訳でしょうか!)会長指令レプリミットを3000として各自一本目は様子を見ながら(違反者にはペナ付)いくはずが、額賞会長、何か黒い旗が出ていますけど…。事務局・中田はアンダー出しまくりに逆スーパータイム。あわや黒旗。期待の若手寺田君、一番お約束に忠実。(この日4WD初体験!)会長の2本目は堅く走り切り、1本目のMCのペナとして、レプリミット5000引き上げを宣言。中田、ストレートエンドでシフトミスで失速。「やっても一た」であとメロメロ。寺田君は、賢く納豆走法で4WDターボへの転向すら考えはじめ。リザルトはみんな仲良く「あっちの方」に固まって目的通り「記憶に残ってしまった」か?でしたが、とても楽しく競技を終える事が出来ました。続く幹部会は予想通り、最初のご指名。須賀さんアリガト。あとは

皆さんのお話をじっくり聞いて、学ぶ事が多くありました。「夜の全国大会」(懇親会)のスタートではいきなり会長行方不明?で取りっぱぐれ。以降ハイエナのごとく暗躍する南茨城であります。本部棚岡さんよりビンゴカードが届きました。期待に胸をふくらませチャレンジ。ゲームが進むにつれ、ついにBingo!賞品をGet。棚岡さんアリガト。中締め後の「更に濃密な交流」は事務局の義務ですので精力的に励み、各支部ごちゃまぜで、も一何の全国大会だかわからなくなっていました。そして25:00に散会となりました。各支部、特に隣接支部とは相互協力を、青森の鶴ヶ谷会長へは茨城の地酒を、同部屋にして大会優勝チームの帯広へは茨城来訪の際は「欲楽街へのご案内」をそれぞれ約し、CMSC南茨城にとって初めての全国大会は幕を閉じたのであります。

我々にとって収穫の多い全国大会でした。本部・各支部の皆様本当に有難うございました。(CMSC南茨城 中田山彦)

CMSC座間

第15回筑波ナイター9時間耐久レース参戦記

スーパー耐久シリーズ復帰に向けての試走

今年、新規に発足させて頂きました我がCMSC座間では、モータースポーツ活動の一環として仙台におけるスーパー耐久シリーズ'99第2戦よりランサーエボリューションVIで参戦いたしました。運悪くアルティアスカイラインGTRの落としたアンダーパネルに乗ってしまい、クラッシュしてしまいました。その後、後半戦に参戦予定の2号車が完成し、シェイクダウンを兼ね今般筑波9時間耐久に参戦致しました。

8月14日15:35より公式予選が始まり、ゼッケン21の我がエボVI(MTCI座間三菱ランサーARC)は4周走ったところでクラッチトラブルの為走行不能となりましたが、タイムは速くポールポジションを取る事が出来ました。決勝まで何とかクラッチトラブルの応急修理は間に合ったものの、不安を持ったままのスタートとなりました。

スタートはル・マン式で、21:00スタートの合図とともにコ・ドライバーがマシンに駆け寄り、ドライバーにタッチしてエンジンスタート。これに手間取り、マシンは5番手で1コーナーに突入。1ラップ目に2番手まで順位を上げ数ラップしましたが、燃料漏れの疑い

でオフィシャルの指示でピットイン。その後も燃料タンクのトラブルや、シビックに最終コーナーでぶつけられる等で長時間のピットインを繰り返し、さんざんな目にあいながらも何とか完走しました。結果はクラス6位でしたが、何よりもマシンのデータ収集と長丁場のチーム運営の勉強が出来たと考えております。



ポールポジションのマシンと市村選手

茂木における'99第6戦からスーパー耐久シリーズに復帰の予定で、良い結果を獲られる様に精一杯頑張りますので、応援して下さい。(CMSC座間 森 淳美)

AIIIクラス CMSC 浜松 相原保雄選手、第4・7戦で優勝。 第6戦 AIIIクラス CMSC 大阪 藤原雄一郎選手が今季3勝目。

AIIIクラスでは、この4戦でCMSC勢が何と3勝。CMSC浜松・相原保雄選手は、第4戦で今季初優勝すると、第7戦も制してシリーズポイントもトップまで13ポイントと迫っています。またCMSC大阪・藤原雄一郎選手は、第6戦を制し、こちらもシリーズポイントで首位に4ポイント差と肉迫しています。残り2戦が楽しみな二人です。

AIVクラスは、CMSC勢がシリーズポイントベスト10に6名も名を連ねているなかで、CMSC札幌・宝田芳浩選手は第6戦第7戦を2位として、シリーズ3位をキープ。十分チャンピオンを狙える位置です。残り2戦での逆転チャンプを祈ります。また、CMSC岐阜・三枝光博選手は第5戦で3位、第7戦で4位に入賞し、シリーズでも宝田選手に次いで4位に健闘しています。

他にも、CMSC広島・河内選手、CMSC座間・小出選手、CMSC山形・八島選手、CMSC岐阜・原選手、CMSC群馬・太田選手、CMSC福島・斎藤選手、CMSC群馬・鈴木選手が活躍しています。



相原選手と第4戦の走り(写真)

AIIIクラス
CMSC浜松
相原保雄選手
第4戦優勝
第5戦4位
第6戦4位
第7戦優勝



藤原選手と第6戦の走り(写真)

AIIIクラス
CMSC大阪
藤原雄一郎選手
第4戦6位
第5戦2位
第6戦優勝



AIIIクラス
CMSC群馬
太田清隆選手
第4戦3位(写真)
第6戦6位



AIIIクラス
CMSC福島
斎藤千尋選手
第7戦5位



AIVクラス
CMSC札幌
宝田芳浩選手
第5戦2位(写真)
第7戦2位

第4戦
「ダートスプリント in 門前」6月20日(日)
石川県鳳至郡「門前町モータースポーツ公園」
第5戦
「第23回DCCSダートトライアル」7月11日(日)
栃木県黒磯市「丸和オートランド那須」
第6戦
「'99北海道ダートスペシャル in スナガワ」
8月1日(日)北海道砂川市
「オートスポーツランドスナガワ」
第7戦
「'99CMSC-20 テクニカルダートトライアル」
8月29日(日)宮城県仙台市青葉区
「仙台ハイランドレースウェイ・ダートコース」



AIVクラス
CMSC広島
夏明成巳選手
第6戦3位



AIVクラス
CMSC岐阜
三枝光博選手
第5戦3位(写真)
第7戦4位



AIVクラス
CMSC大阪
吉村 修選手
第4戦4位(写真)
第6戦6位

コトの連続コーナー 13

CMSC島根
古藤 浩美

全国大会'99・CMSCシマネの場合
「さよなら夏の日」(山下達朗氏に...)

島根からエースドライバー
往復二千数百キロ
お盆明けの酷暑の中
「さよなら夏の日」

途中から大雨、急がせられよう
温風アツアツ全開

おろろ
おろろ
おろろ

おろろ
おろろ
おろろ



AIVクラス
CMSC栃木
赤羽政幸選手
第5戦4位



AIVクラス
CMSC群馬
荒井信介選手
第5戦6位



AIVクラス
CMSC岐阜
榎田正文選手
第4戦6位



Dクラス
CMSC広島
河内 涉選手
第4戦3位
第5戦2位(写真)



LIクラス
CMSC群馬
鈴木真澄選手
第5戦2位



LIクラス
CMSC座間
小出久美子選手
第4戦2位/第5戦2位(写真)
第7戦2位

CMSC道北 鎌田豊選手6勝でBクラス 2年連続シリーズチャンピオン!



**Bクラス
CMSC道北
鎌田豊選手(左)
川村知恵選手(右)
第7戦優勝**

第7戦での鎌田選手の走り(左)

鎌田選手は、ここまで5戦4勝と圧倒的な強さを発揮しています。シリーズチャンピオンも王手の状態で、この第7戦でポイントを獲得すればそれも達成します。初日こそ木戸選手と競る形になりましたが、二日目は実力を発揮して圧倒。2年連続3度目のシリーズチャンピオンをあっさり決めました。

第8戦は、鎌田選手は余裕の?リタイヤ。(SS2で足周りを岩にヒット。残念!)しかし、同じCMSC道北の鷹野健太郎選手が抜きつ抜かれつのデッドヒートの結果、惜しくも2位。シリーズポイントでも2位を堅持しています。

またCクラスでは、第8戦でCMSC埼玉III 幸宏選手が4位入賞。シリーズポイントも5位と健闘してくれています。

第7戦: '99ノースアタックラリー」7月3日(土)～4日(日)
スタート・ゴール/北海道夕張市「ホテル シューパロ」
第8戦: '99RALLY in Akaigawa」9月4日(土)～5日(日)
スタート・ゴール/北海道余市郡赤井川村「キロロリゾート」



**Bクラス
CMSC道北
鷹野健太郎選手
第8戦2位**



**Cクラス
CMSC埼玉
田口幸宏選手
第8戦4位**



**Cクラス
CMSC浜松
菅野正之選手
第7戦5位**

CMSC山形 小川日出生 スーパー耐久シリーズ'99第5戦 参戦記

十勝24時間レース 史上初の2年連続優勝!

スーパー耐久シリーズ'99第5戦

今年も十勝24時間レースでクラス優勝出来ました。各地のCMSCの皆さんご声援ありがとうございました。シリーズチャンピオンを目指してゆくには、十勝で優勝し、ポイントを重ねるしか道はないと判断。今年も参戦を決めたものです。残念なことに今年はエントリーが我がチームとBMW-M3の2台でした。まさに一騎打ちで耐久性、燃費の上からもBMW優性が確実視されておりました。しかしレースは最後の最後までわからないと言い聞かせ、ゴールするまでミスのない様淡々と走る事にしました。15時間がすぎ、緊張の夜が明けた頃BMWがまさかのクラッシュで修復に約3時間のピットストップをしいられました。この間我がRSオガワADVANランサーはノントラブルでクリアし、無事クラス1位でゴールできたのです。昨年は7秒差で逆転優勝し、今年は運に助けられての優勝でしたが、2年連続優勝は我がチームだけだそうです。

24時間レース史上初の2連続優勝はランサーエボVIのすぐれた耐久性を

鈴鹿1000kmレースにも遠征、3位入賞。

十勝24時間レースが終って一ヶ月後。私達が次にチャレンジしたのは鈴鹿1000キロレースです。丁度CMSC全国大会の日だったので全国大会に参加できなかったのはとても残念でしたが、スーパー耐久クラス(N耐の1クラス～4クラスまで一緒のクラスです)でクラス3位になることが出来ました。50才の記念にと以前ミラージュレースで一緒だった小宮延雄氏と全日本ラリー時代一緒だった日下部保雄氏とチームを組みました。35℃の厚さの中でスタート。まさに暑さとの戦いでした。GTカーとの混走でもありトラブルにみまわれるマシンが多い中、ブーストを下げての走行のおかげでしょうか、ノントラブルのままゴールできました。本当に暑い夏がやっと終わったような気がしております。が、今後もチャレンジ精神を忘れずモータースポーツを楽しんでゆきたいと思っています。十勝でお世話になったCMSC札幌の矢沢君、高橋君、鈴鹿でお世話になったCMSC島根の岡本君、伊達君、本当にありがとうございました。スーパー耐久シリーズ残り3戦も頑張ってくださいますので全国の皆さん応援よろしくお願いたします。

広く日本中にアピールしたものと確信しております。連続優勝記録を延ばすべく、今後も活動を続けてゆきますので、皆さん今後も宜しくお願いいたします。



スーパー耐久シリーズ'99第5戦:「第6回十勝24時間レース」7月17日(土)～18日(日)
北海道「十勝国際サーキット」



十勝24時間レース表彰式での小川選手(上)と走り(左)



鈴鹿1000kmでの走り

お盆の最中も練習会で暑気払い。

CMSC帯広 8月15日夏の練習会

8月15日にチーム恒例行事のダートラ練習会を開催しました。前日には雨もばらつき、連日の30度を越す猛暑も一休みかと思っていたら、当日はまた快晴の暑い一日となりました。今年はお盆とぶつかったこともあり参加はちょっと少なめの17名でしたが、暑さを吹き飛ばす元気な走り一日楽しみました。

(CMSC帯広 中村洋次)



CMSC青森**'99CMSC青森ジムカーナ第2戦**
6月27日**スペシャルゲスト木全蔵氏に参加者大喜び**

'99CMSC青森ジムカーナ第2戦は、当クラブ専用コースの岩木山スキー場特設コースにおいて6月27日CMSC本部からスペシャルゲストとして木全蔵氏を迎えて開催しました。三菱ラリーアートチーム総監督木全氏の1台ずつの走行チェックを受けられるというビックなプレゼントに参加者は大喜びでした。

走行後の講評に希望者が殺到しましたが、木全氏の解りやすい解説に希望者の全員がアドバイスを受けることができ、参加者から感謝の声が多く聞かれました。競技会終了後は、クラブ員との懇談に出席いただき大変実のある一日となりました。

地方におけるモータースポーツ発展のためクラブの更なる飛躍のためにも機会があれば再度おいで願いたいと思います。多忙の中、来青いただいた木全氏には誌上を借りて、心から感謝いたします。
(CMSC青森 小館 久)



木全氏から走行アドバイスを受けるクラブ員

CMSC青森**'99CMSC青森ジムカーナ第3戦**
8月15日**突然シニアクラスが出現!!**

'99CMSC青森ジムカーナ第3戦は、今年最後のジムカーナということからか、昨年の115台に次ぐ108台の参加を得て8月15日開催しました。第3戦の異色はクローズド



クローズドクラスに出走の鶴ヶ谷会長(左) CMSC青森オフィシャルのクラブ員(右) この後の生ビール、焼肉、ホタテパーティーが最高に盛り上がりしました。

クラスへなんと会長の鶴さん、宴会部長の前田義人さん、歩くエアバック標準装備の小枝社長の3名が勝手にシニアクラスをつくり3名だけで大いに盛り上がりしていました。

結果は、終了後の大反省会を超楽しくするため?宴会部長の義人さんがクローズドクラス内シニア部門第1位に、会長の鶴さんに華を持たせたエアバックマン小枝社長は第3位、輝く??第2位は会長ということで、事なきに終わりましたが来年まで又、鶴さんの自慢話を聞かされそうですね。

まずは、'99CMSC青森ジムカーナ第3戦無事終了、恒例の大反省会は例年以上の盛会でした。もしかすると、来年は本当にシニアクラスの大バトルがあるかも…。口自慢のベテランの皆さんは、今から練習して今後は走ってみましょう。

最後に今年も参加された選手と、朝早くからオフィシャルで頑張ってくれたクラブの仲間に、ありがとう。
(CMSC青森 小館 久)

CMSC青森**'99ツールド・東北**
7月24日~25日**「ラリーの灯」を絶やさずの思いで…。**

'99ツールド・東北はJMRC関東・東北ラリーシリーズ第5戦/99レカロカップシリーズ第4戦のダブルタイトルがかかる中で7月24日~25日青森県岩木町をスタートとする約250kmでおこなわれました。CMSCからは群馬の細村選手が、千葉からは丹羽選手が遠路参加してくれました。結果、丹羽選手は見事Cクラス優勝、群馬の細村選手は残念ながら途中リタイアしてしまいました。

今年は、レキを金曜日の午後と土曜日の午前で3回走れるよう設定したところ参加者からは好評でしたが、オフィシャルのクラブ員には大変苦勞かけました。また、一部に今まで使用したことのないコースを使い、よりスポーツ性の高いラリーを設定したせいででしょうか、リタイアが多くなったことは、残念でしたが大した事故も無く終えることが出来たので、来年もがんばって続けるつもりです。

ラリー開催には、事前準備と多くのスタッフを必要としますが、今年もコースの草刈りや、救急体制をとってくれたクラブ員や関係者に心から感謝したいと思います。少なくなるラリー人口ですが、いつかまた増えることを思い「ラリーの灯」だけは消さずに続けましょう。2000年は全日本戦でカレンダー申請する予定です。選手としてあるいはオフィシャルとして全国CMSCの皆様のご支援宜しくお願いします。



Cクラス優勝のCMSC千葉の丹羽選手(左)

(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)

CMSC愛知**CMSC愛知IN山室山 ダートトライアル**
7月11日**開催場所変更も、イベントは成功!**

はや3回目となった今回は、開催場所の変更もあり今回のイベントは成功するかどうか不安でしたがチーム員の努力と地元クラブのTSR-Cの皆様の協力で成功を収めることが出来ました。今回チームの役員も審判上級取得者により自前でもかなうことが出来大変よかったと思います。エントラントの皆様も今回の特別賞に満足いただきオーガナイズしてよかったと思いました。来年も開催する予定ですので地域の皆様とどしどし参加してください。
(CMSC愛知 吉野正則)

CMSC香川**CMSC香川'99CMSCダイヤスターラリー**
7月10~11日**休みたいけど…。来年も頑張るぞ!**

7月10~11日に、'99CMSCダイヤスターラリーを主催しました。今回は、例の通達の御陰でSSは、出来ませんでした。ハイアベとラリー区間という設定で、第1~3戦で何台も潰れて、38台しか集まりませんでした。ハイアベは59.9km/hという指示でしたが、Cクラスの何台かは、CP前で時間調整するという珍しい光景が見られました。来年は、主催を休みたいのですが、周りの主催者、エントラントからはなかなか許してもらえません。来年もまた、頑張ろうと思います。
(CMSC香川 白井 修)



CMSC香川会長 平尾高王氏(左)、山本博文 審査委員長(右)

CMSC島根事務局住所変更のお知らせ

7月より事務局住所が変更されました。

松江市西津田2-11-38
島根三菱自動車販売株式会社
松江第2販売部内 CMSC島根
会長:杉坂啓一
事務局長:国谷益雄

TEL:0852-26-1630(変更ありません)

FAX:0852-26-1631(変更ありません)

CMSC 座間
JMRC関東ダートトライアルシリーズ第8戦
8月8日

全日本選手権レベルの運営で好評!

1999年JMRC関東ダートトライアルシリーズ第8戦を、8月8日に晴天の丸和オートランド那須にて主催致しました。参加台数はシリーズ最大の142台で、クラブ員一同張り切ったのは言うまでもありません。シリーズとしてははじめての、開会式の出席確認、パークフェルメ式再車検等、全日本ダートトライアル選手権レベルのチャレンジを致しました。受付で参加者全員に参加賞を手渡し、全日本ダートトライアル選手権に参戦中のクラブ員、秋間選手と私(小出久美子)のランサーエボリューションVによるエキビジョン走行を披露し、第1号車がスタートしました。クラブで用意した光電管、パソコンによる計時システムもトラブルなく完璧でした。また、成績表もカラーで選手に手渡すことができたのは、ダート界初の試みでした。

イベントの進行もおおきなトラブルもなく順調に進み、表彰式では、各クラス10位までの豪華商品を始め、いろいろな特別賞、さらに何ももらっていない選手のために商品を用意し好評の内に、無事終了いたしましたことを報告させていただきます。

また、このイベントが成功したのはクラブ員全員の団結はもちろんですが、応援いただきました、ラリーアート、座間三菱自動車販売株式会社、オートタイヤ株式会社をはじめ、スポンサー各社様の暖かい応援のおかげです。本当にありがとうございました。



そしてこれからも、エントラントの立場に立ったイベントを主催できますようクラブ員一同努力いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

(CMSC座間 小出久美子)



CMSC座間 小出選手によるエキビジョン走行

CMSC 座間
サーキット走行会開催記
6月24日

サーキット走行を各自存分に満喫

6月24日CMSC座間第2弾サーキットジャンボリー'99を筑波サーキットにて開催いたしました。雨は降らないでほしいと祈りが何となく通じたのか、晴天とはいかないまでも雲の透き間から太陽の光がちらつく気持ちの良い日でした。CMSC座間クラブ員をはじめエボリューションユーザーなど約40名が参加し自己タイムの更新を目指す方、初めての筑波をじっくり味わいながら走る方、それぞれのサーキット走行を存分に満喫していただきました。途中コースアウトがあり走行が中断するハプニングがありましたが、1台の事故もなく2時間の走行会はあっという間に終了しました。また、走行会終

了後のビンゴゲームやCMSC座間のイベント名物「スプラキハウス」も大好評で、笑顔が尽きない雰囲気のまま第2イベントは大成功をおさめ参加者の方々に喜んで頂けたと思います。

今回は、12月5日山梨モータースポーツランドにて走行会を開催予定で、スタッフ一同準備を進めております。今後も、サーキット走行会、ダートトライアルをはじめ、ジムカーナやカートなど幅広く活動をしていきたいと思っておりますので、これからもCMSC座間をよろしくお願い致します。

(CMSC座間 尾籠 厚)

C3クラスシリーズ
チャンピオン

地区戦レポート

JAF関東ダートトライアル選手権シリーズ CMSC座間 秋間忠之

毎年20万人もの観客動員のある、インテックス大阪で開催されております、「ALESCO大阪モーターフェア」のイメージ展示マシンのランサーエボリューションで、1995年から3年連続JAF関東地区ダートトライアル選手権Dクラスチャンピオンを獲得し、1999年はマシンをランサーエボリューションIV、VI仕様に乗り換えC3クラスにチャレンジしております。

第1戦から3連勝してからは、マシントラブルで苦しみました。座間三菱(株)、クラブ員の暖かい応援をいただき最終戦を待たず、第9戦目でチャンピオンを決めることができ、とても嬉しく思っております。また、1999年度はJMRC関東ダート

トライアルシリーズ第8戦を主催し、好評の内無事終了できたこともうれしかったことです。全日本ダートトライアル選手権にも、良い成績が残せるよう、これからもクラブ員全員でチームワーク良く、モータースポーツ活動を楽しみ参加して行きたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



秋間選手の走り

'99チャレンジカップ

座間に肉迫する福島! 帯広は3位浮上。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
座間	763	628.5			1391.5
福島	629	753			1382
帯広	544.5	570			1114.5
大阪	551	409			960
広島	526	411			937
道北	471	186			657
山形	219	371			590
青森	192	332			524
浜松	319	168			487
栃木	251	184			435
香川	187	230			417
札幌	246	136			382
岐阜	11	347			358
岩手	129	117			246
島根	101	128			229
埼玉	0	189			189
群馬	135	0			135
仙台	27	52			79
秋田	1	50			51
愛知	22	26			48
南次城	15	0			15
鹿児島	0	0			0
千葉	0	0			0

トップの座間に福島がグングン迫ってきました。さすがに昨年の覇者、簡単に逃がしはしませんね。部門別では、

大きな変動はありませんが、各支部の特色が出ています。勝負は後半戦です。申告漏れの無いようにして下さい。

●ラリー・ドライバー部門

鎌田 豊	道北	201
鷹野健太郎	道北	100
後藤英隆	福島	98
田口幸宏	埼玉	66
岩見浩紀	道北	63
樋口 宏	大阪	48
森 新次	香川	40
杉山 聡	道北	29
松原 敦	大阪	26
白井 修	香川	25

●ラリー・ナビゲーター部門

川村知恵	道北	244
中村洋次	帯広	131
須田 力	秋田	30
山地英樹	香川	24
内藤修一	道北	20
渋谷信人	福島	18
野村左江子	広島	14
須田行雄	福島	12
本田辰彦	岐阜	11
柳藤義和	秋田	10

●ダートトライアル部門

藤原雄一郎	大阪	527
秋間忠之	座間	466
宝田芳浩	札幌	380
小出久美子	座間	367
河内 涉	広島	362
石井宏和	座間	274.5
吉村 修	大阪	241
斉藤千尋	福島	228
湯本 敬	山形	223
三木利夫	香川	186
伊藤祥充	浜松	186

●ジムカーナ部門

青沼達也	帯広	251
三崎朋弘	帯広	199
長内 豊	帯広	151
宇野慶一	青森	124
高野 聡	福島	121
平山敦朗	浜松	120
渡辺 弘	福島	119
髙谷英晶	青森	80
村上直子	帯広	78
葛西 満	青森	77

●レース部門

小川日出生	山形	136
内堀篤史	栃木	61
寺澤 誠	栃木	61
川口法行	栃木	33
大福地武良	栃木	17
添田 正	栃木	13

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	J/タイ
ポイント	A 40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
	B 20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

A: <ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ>全日本選手権(含むレディースクラス)、地方選手権(除くレディースクラス)、A.B.C.D.E.F.G最上級シリーズ、オールスターダートラ(含むレディースクラス)、JAF Cupジムカーナ(含むレディースクラス)、A-H地区オールスターダートトライアル(含むレディースクラス)
<レース>全レース
<海外競技>FIA ASN 公認全て
B: 上記以外